

ユネスコ無形文化遺産

古川祭

国指定重要無形民俗文化財



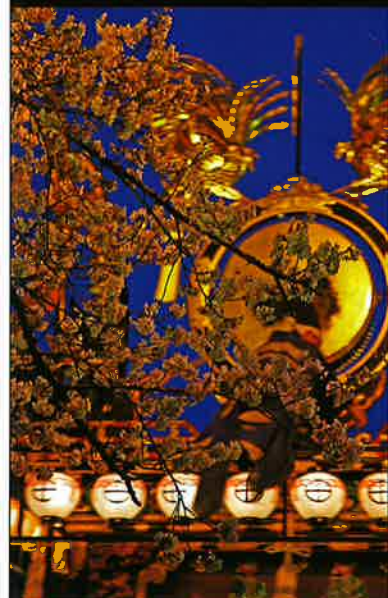
■ 古川祭 起し太鼓・屋台行事

国指定重要無形民俗文化財である全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

岐阜県飛騨市

毎年4月19日・20日

古川祭は400年以上の伝統がある気多若宮神社の例祭です。起し太鼓も屋台曳行も氏神様の神幸を祝い、迎えるためのものであり、古川人がこの地に生きる上での心のよりどころとなっています。





古川祭を
いつでも
体験・体感

■ 飛騨古川まつり会館

260インチの大型スクリーンで古川祭を見ることができ、館内には、本物の豪華絢爛な祭屋台が展示してあります。からくり人形を動かす貴重な体験もできます。

住所 岐阜県飛騨市古川町吉之町 14-5
 入館料 大人 500 円、小人 300 円
 営業時間 午前 9:00～午後 5:00
 (12月～2月は午後 4時 30分まで)
 年中無休
 TEL 0577-73-3511



■ 起し太鼓

数百人のさらし姿の裸男たちが担ぐ櫓が町中を練り歩き、町の辻々では「付け太鼓」と呼ばれる小太鼓を持った裸男達が町内の威信をかけ、我先に櫓に付けようと次々に突っ込み激しい攻防戦を繰り広げる。迫力ある攻防は深夜まで及ぶ。起し太鼓の起源は神輿(氏神様)をお迎えできるように屋台飾りなど祭りの準備を始める合図として、太鼓をたたき町内の氏子の眠りを覚まして廻ったことによるといわれる。



出立祭の前、各組の若者が付け太鼓を使い度胸を試し合う 千余りの美しい提灯行列が起し太鼓の櫓を先導する

■ 古川祭屋台 / 夜祭

19日朝、町中には神輿行列を迎えるため9台の屋台が蔵から姿を現す。古川祭屋台は、江戸からもたらされた屋台に飛騨の匠の技を加え、京都の雅やかさを融合している。20日は朝から夕方まで町内各所で屋台が曳き揃えられる。20日夕刻からの夜祭では、提灯を灯しながら厳かに曳行し、日中とは違った表情を見せる。



■ 子供歌舞伎

■ 白虎台

昭和59年の大改修の際、踊り台と源義経の人形を復元し、百数十年以上途絶えていた子供歌舞伎が復活した。子ども達が華やかに演舞する「橋弁慶」は、人々を魅了する。



■ からくり人形 (屋台の上で上演されます)



■ 青龍台
 謡曲「鶴亀」に合わせ25条の糸で操られる。唐子が梯子を掛け福祿寿の長い頭の毛剃りの様子を表し、左手に持つ亀が鶴に一瞬にして変わる巧妙なからくり。



■ 麒麟台
 謡曲「石橋」に合わせ20条の糸で操られる。籠から花が咲くと、唐子が喜び一瞬のうちに獅子頭をかぶり、花吹雪を散らしながら舞い踊るからくり。

■ アクセス



東京	2時間15分	富山	1時間13分
東京	1時間50分	名古屋	2時間35分
大阪	52分	名古屋	15分
名古屋	2時間20分	高山	41分

新幹線 (Red dashed line)
 JR線 (Black solid line)

■ 神輿巡行

19日午前、気多若宮神社にて厳粛な神事が執り行われた後、氏子に護衛された神輿が獅子、鬨鶏楽、采女、舞姫、雅楽を伴い華やかに巡行する。神輿行列は塩で清められた道を2日間かけて巡行し、町内各所で祝詞が奏上される。



お問合せ

▼一般社団法人 飛騨市観光協会
 TEL: 0577-74-1192
 FAX: 0577-73-0099
<http://www.hida-tourism.com>

▼飛騨市観光案内所
 TEL: 0577-73-3180
 ▼飛騨市役所 観光課
 TEL: 0577-73-2111
 FAX: 0577-73-6866
<http://www.hida-kankou.jp/>

甲山の美しい原風景
 匠の技が息づくまちを旅しよう

飛騨市公式観光サイト

飛騨の旅

